

友生小だより



伊賀市立友生小学校 学校だよりNo.12 2024年12月2日

「ぽかぽかの会」読み聞かせをしていただきました。



11月1日(金)、「ぽかぽかの会」の方にお越し頂き、今年度は初めての読み聞かせを実施しました。

子どもたちが毎年楽しみにしている「ぽかぽかの会」による読み聞かせが、学校の都合で今年度は少し遅くなっていましたが、今回1年生と2年生の教室で実施することができました。

本校では、読書力の向上を学力課題の一つとして

今年度、学校マニフェストの重点目標にも上げていま

す。読書感想文の取り組みの充実や、高学年児童が低学年の教室に読み聞かせに行ったり、5、6年生がビブリオバトルに挑戦したりと、様々な取り組みを進めています。お家でも読書習慣の定着のために、子どもたちが本に親しむ環境づくりにご協力をお願いします。

たくさんのご参加、ありがとうございました。

11月8日(金)、開催した学習発表会には、たくさんの方にお越しいただき、ありがとうございました。

子どもたちは、自分たちがこれまで学んだことや、そこから自分が考えたことを、なかまやお家の人にどう伝えようかと悩みながら、この日のために何度も練習を繰り返してきました。

本番は、大変緊張していた様子でしたが、歌、群読、演劇、プレゼンテーションなど、様々な表現方法を織り交ぜながら、いきいきと楽しく、また真剣に伝えたいことを発表することができました。それぞれの発表からは「自分やまわりにいる友だちを大切に」「自分の考えを発信し、なかまの思いを受け止める」という気持ちの強さを感じることができました。

何百人という人の前で自分の思いを発信するというのは本当にエネルギーのいることですが、今回の学習発表会を通して、表現することの楽しさを感じたり、みんなで知恵や工夫を

だし合いながら力を合わせてひとつのものをつくりあげる達成感、自分の思いを伝えることができた充実感を味わうことができたのではないかと思います。

保護者のみなさま、地域のみなさまには、舞台上で全力で取り組んだ子どもたちの頑張りに、たくさんの拍手とあたたかいまなざしを送っていただき、ありがとうございました。

3年生が八幡町市民館に行ってきました。

11月19日(火)に、3年生が八幡町市民館と、しろなみ児童館に行ってきました。

館長さんや職員さんから住みよいまちをつくるために様々な活動していることを学び、人権について考えるきっかけとなりました。館長さんからは、ご自身の経験をもとに、みんなが安心して暮らせる町にするためにがんばっている人たちの思いを聞かせて頂きました。

そして「ここは、みんなの居場所でもあるんですよ。来たい

時に来て、安心して居られる場所、なかまとつながれる場所でもあります。」と話してくださいました。

3年生はこの後、学んだことをもとに、自分や学級を振り返り、いじめや差別をなくすために、また、つながりの深いなかまをつくるために自分にできることを考えていきます。



5年生が工場見学に行ってきました

11月14日(木)、11月20日(水)の2日間にわたって、5年生が「DMG森精機伊賀事業所」さんに工場見学に行ってきました。これまでも、地元地域のたくさんの工場やお店に学習への協力を

お願いしていますが、今回は初めての見学場所です。

用意して頂いたバスで御代にある事業所の敷地内に入ったのですが、子どもたちは、まずその広さに驚き、その後の見学でも、高度なセキュリティ、最新の精密機器と、それを扱うためのさまざまなシステムや安全対策など、新しい発見の連続でした。

また、ものづくりに対する考え方や、たくさんの方が働く職場として大切にしていることなどについても聞かせて頂きました。

これまで、あまり接することのなかった世界や、知らなかった知識に触れる貴重な体験となりました。



伊賀市PTA連合会「スポレク大会」が開催されました。



11月17日(日)、大山田B&G体育館を会場に

伊賀市PTA連合会「スポレク大会」が開催されました。

白熱したボッチャの試合が行われ、友生小学校

「疾風迅雷」チームも大健闘しました。

選手のみなさま、お疲れ様でした。また、たくさんの

ご声援をいただき、ありがとうございました。

5年生が大いに笑ってきました。

11月25日(月)、伊賀市の小学生に伝統文化の体験を、という文化都市協会さんの「インリーチ事業」で、伊賀市の小学5年生全員を対象に文化会館で落語の鑑賞会が行われました。

当日は、まず落語までの待ち時間に、ピエロに扮した芸人さんにマジックやパントマイムで笑わせてもらい、その後登壇した林家菊丸さんから落語に関する様々な言葉や芸について教えてもらい、最後に動物園をテーマにした落語を楽しむ、という構成でしたが、最前列に席を用意して頂いた本校の5年生は、演者の方との掛け合いを楽しんだり、舞台上上げてもらったりと、始めから終わりまで笑いっぱなしの、あつという間の2時間でした。

～子どもたちの感想から～

・「一人で5人の役をやってすごいなと思った」・「うどんの音とかリアルでおもしろかった」・「扇子で割り箸やドアを叩く音がつくてすごかった」・「顔とか体とか使ってわかりやすく表現しているのがおもしろかった」・「テレビで観るのは迫力が違った」・「おもしろくて時間がすぐ過ぎた」・「これからちょっと聞いてみようかなと興味を持った」・「また本場に観に行きたいと思った」・「家族とも観に行きたいと思った」

学校環境整備、ありがとうございました。

11月25日(月)、午後、学校支援地域本部と、友生地区住民自治協議会ボランティアの方々に、学校の除草作業をして頂きました。おかげで、学校周辺が見違えるように大変きれいになりました。子どもたちが気持ちよく教育活動を行えるよう、いつも支えてくださっていることに、感謝申し上げます。子どもたちが「自分たちが地域の方に大切にされているんだな」とあらためて実感する、本当にありがたいご支援です。心より感謝申し上げます。



わかば会が「あいさつ運動」に取り組みました



11月25日(月)から29日(金)までの期間、わかば会が「あいさつ運動」に取り組みました。

いつも以上に、大きく元気な「おはようございます!」の挨拶が交わされる一週間ですが、この素敵な挨拶が、この後も続くようにと、子どもたちと話をしました。

友生小学校・学校マニフェストの重点項目である

「元気にあいさつ」は、1年間を通じての継続した取り

組みです。引き続き、ご家庭、地域のご協力をよろしく願います。

おはようございます!!



「部落問題を考える小学生の集い」に参加しました。

11月26日(火)、市内の6年生が、これまでの学習や自分の体験をもとに、差別をなくすなかとして、互いの思いや考えを話し合う「部落問題を考える小学生の集い」に、本校からは4名の6年生が参加し、これまで学んできたことや、学習から自分が考えたこと、感じたこと、これからのことなど、自身の思いを他校のなかとまたちと交流しました。

自分の考えを発信するだけでなく、自分の意見に思いを返してもらえたことや、他の意見に自分なりの意見を伝えることができたこと、他の学校での差別をなくすための取り組みを学べたことや、何より、これからとも中学校に行く6年生に差別をなくそうとがんばっているなかとまたち、他校にもたくさんいることなどを知り、次の学習につながる学びとすることができました。

この後、12月5日(木)5・6時間目に、6年生全体が7つの分散会に別れ、「部落問題を考える小学生の集い～友生小版～」を行います。今後さらに卒業に向け、そして中学校生活に向けて、学習を進めていきます。

いじめや差別をなくすために

三重県では、11月を「いじめ防止強化月間」として、また11月11日から12月10日までの一ヶ月間を「差別をなくす強調月間」として、いじめや差別の根絶に向け様々な取り組みや啓発活動を推進しています。

学校では、年間を通じ授業や学校活動の中で、いじめ防止のための学習や、早期発見、早期対応のため毎学期のいじめアンケート、また差別をなくすなかとまたちづくりの学びなど全学年で取り組んでいます。この推進期間には、子どもたちが「ピンクシャツ運動」等の、いじめや差別のない学校づくりにむけた活動に取り組めます。